

国際渡航再開に向けたイノベーション ～成田空港におけるFAST TRAVELの取り組みと今後の方向性～

2021年4月12日

成田国際空港株式会社

経営企画部門 副部門長

上席執行役員 宮本 秀晴



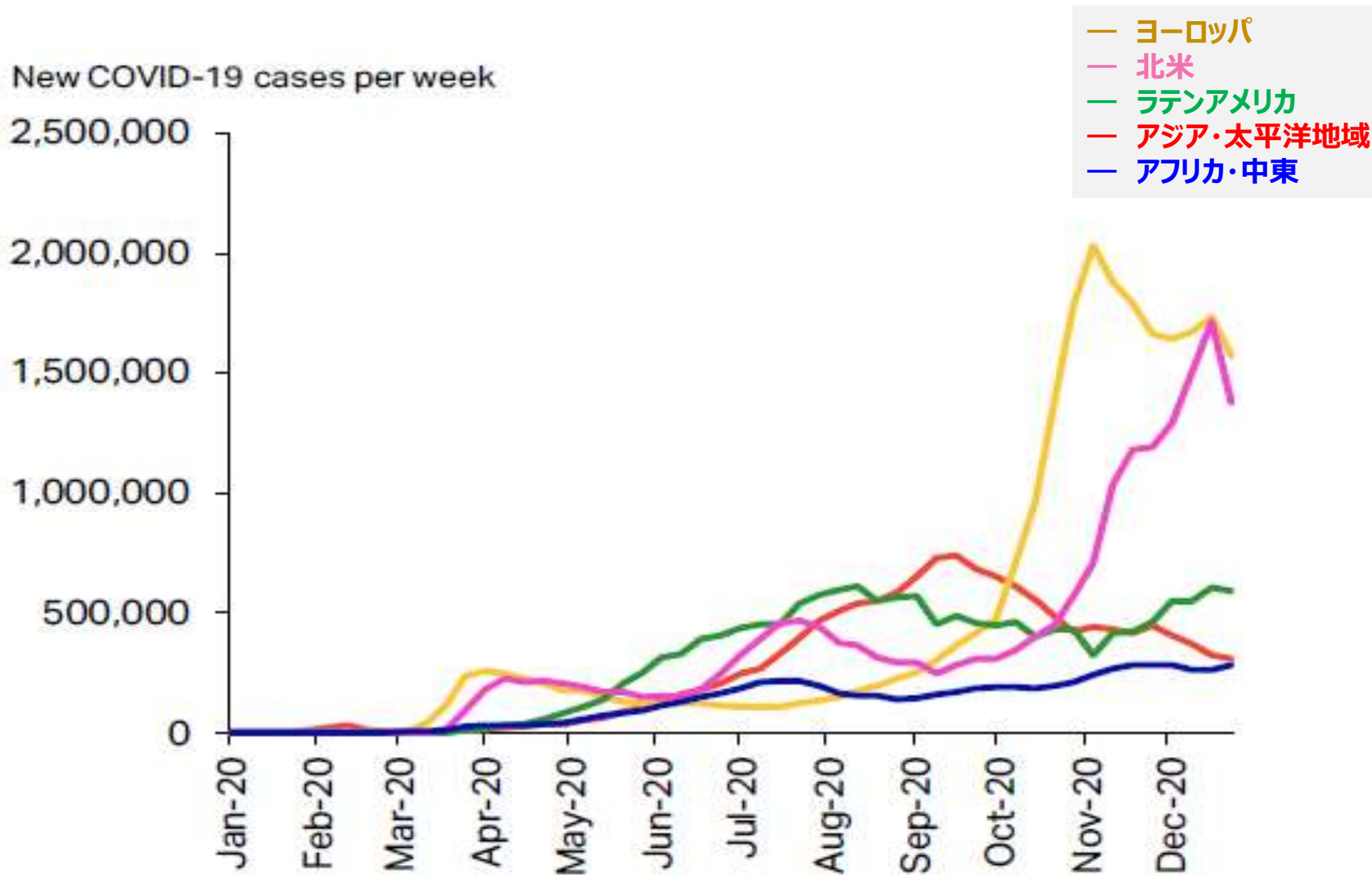
Narita Airport

Connecting Japan to the World

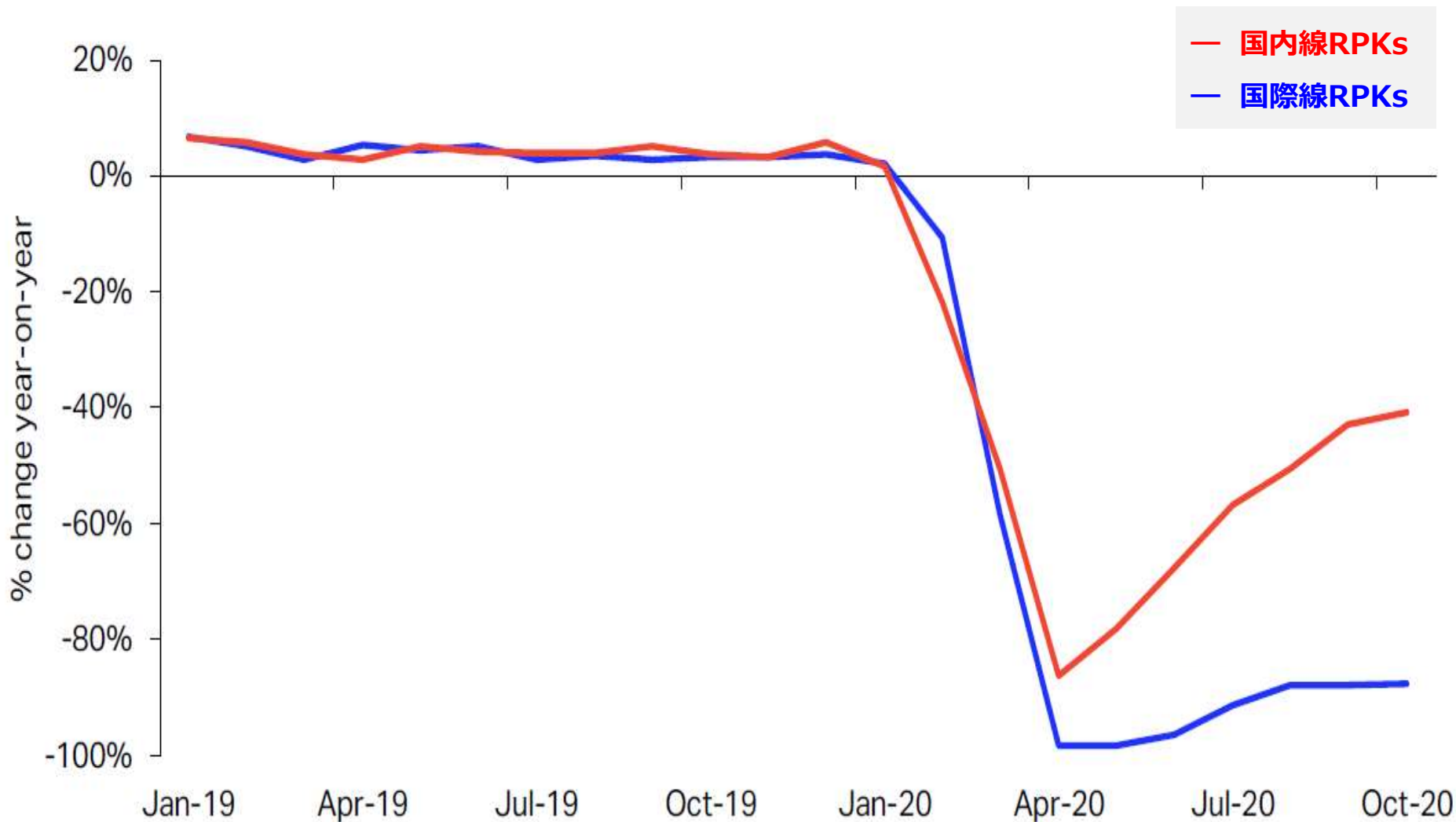
1. COVID-19と航空業界
2. 非接触＝バイオメトリクス
3. 国際機関の動向と国際線再開に向けて

1. COVID-19と航空業界

新型コロナウイルスの新規感染者数推移



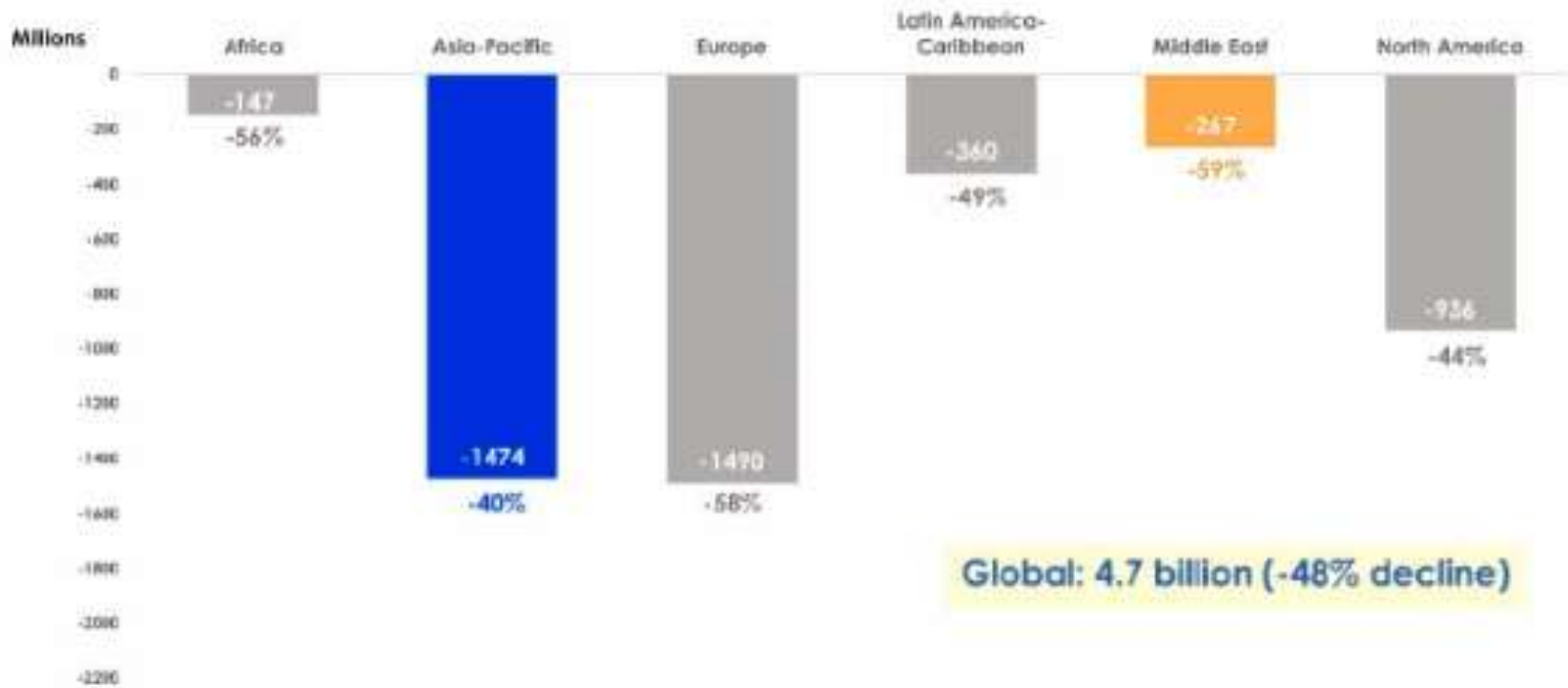
国内線及び国際線のRPKsの推移



世界の2021年旅客数予測

Estimated passenger traffic loss by region for 2021

(as compared to the "business as normal" scenario)



Source: ACI World Advisory Bulletin, Mar 2021

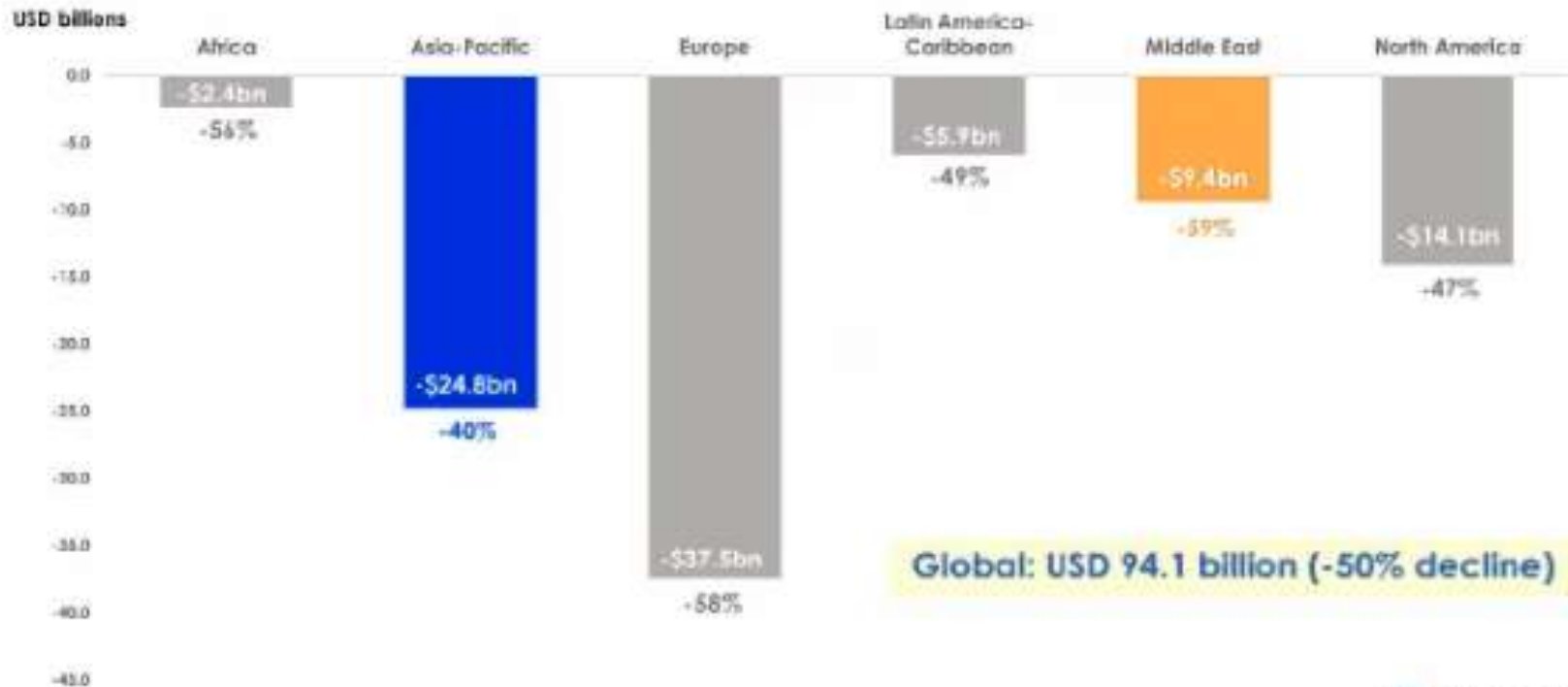


※出典：ACI資料より より詳細は、advisory bulletin参照

<https://aci.aero/wp-content/uploads/2021/03/210325-Econ-Impact-and-Recovery-Analysis-Bulletin-FINAL.pdf>

世界の主要空港の収益予測

Estimated airport revenue loss by region for 2021 (USD billion) (as compared to the "business as normal" scenario)



Source: ACI World Advisory Bulletin, Mar 2021



※出典：ACI資料より より詳細は、advisory bulletin参照

<https://aci.aero/wp-content/uploads/2021/03/210325-Econ-Impact-and-Recovery-Analysis-Bulletin-FINAL.pdf>

成田空港の航空需要動向(国際線旅客数)

2018年度

2019年度

2020年度



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
前年同月比 (%)	106	107	110	107	107	113	106	104	106	108	105	106	103	105	103	104	104	97	100	106	106	107	81	27	2	2	3	3	3	3	4	5	5	4	4

入国制限の強化

- ビジトラ/レジトラの停止
- すべての国・地域からの新規入国停止
- 短期出張からの帰国、再入国の特例措置の停止
- 変異株流行国からの入国者への特別な措置の実施
- 変異株流行国・地域への短期渡航の自粛要請
- 出国前72時間以内の検査証明書の提示
- 14日間の公共交通機関不使用、自宅等待機、位置情報の保存・提示、接触確認アプリの導入などへの誓約書の提出
- スマートフォンの携行、必要なアプリの登録・利用
- 質問票の提出→14日間の健康フォローアップのための連絡先などの提供

空の旅が戻る日は来るのか？

コロナ禍における各種調査結果

ACI「世界旅行調査:3か月以内に飛行機に乗って旅をしたいか？」

- 飛行機の旅をしたい ⇒ **48%(世界平均)**
- 中東地域は世界平均より前向き ⇒ **58%**
- アジア・太平洋地域は、やや弱含み ⇒ **41%**

出典:ACI 2020 Global Travel Survey

PGF生命「人生の満足度に関する調査2020」

◆コロナ前に戻れるならしたいこと
(自由回答形式)

**「旅行」が
ダントツの1位**

◆ウィズコロナの環境下でもやりたいこと・挑戦したいこと(自由回答形式)

**「旅行」が
1位**

出典: <https://www.pgf-life.co.jp/company/research/2020/002.html>

コロナ後の海外旅行意向

新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域

(回答はあてはまるもの全て、%)

順位	回答者→	全体	アジア全体									欧米豪全体				
			韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
	サンプル数	5,662	3,822	466	515	489	470	470	468	466	478	1,840	456	462	453	469
1	日本	46	56	24	65	75	76	69	50	45	44	24	21	25	24	23
2	韓国	22	30	-	25	30	29	34	29	32	28	8	11	6	7	7
3	台湾	17	23	18	13	-	47	12	32	33	5	7	10	5	5	7
4	オーストラリア	16	16	18	14	16	16	7	22	20	17	17	17	-	21	12
5	タイ	16	19	14	15	13	27	-	27	-	16	12	10	13	15	11
6	シンガポール	15	17	14	17	12	11	16	-	-	33	12	9	18	13	7
7	ニュージーランド	15	15	15	15	18	11	9	21	17	11	14	13	-	21	9
8	アメリカ	14	9	18	10	13	7	6	10	3	6	28	-	21	39	25
9	スイス	12	12	21	10	14	10	9	15	11	8	12	11	13	-	-
10	イギリス	12	10	12	8	11	12	9	12	9	9	19	20	18	-	-

出典：日本政策投資銀行（DBJ）と公益財団法人日本交通公社（JTBF）によるアジア、欧米豪12地域の海外旅行経験者6,226名に対する海外旅行意向調査をNAAで抜粋

感染拡大防止

- ・マスク着用、消毒液、飛沫防止スクリーン設置等
- ・AIRPORT HEALTH ACCREDITATION
- ・FAST TRAVEL
- ・自動化



※出典：ACI HPより



※出典：IATA HPより



2. 非接触 = バイオメトリクス

FAST TRAVEL推進のメリット



Customer

- ・待ち時間の短縮



Airline

- ・空港業務の効率化・省人化
- ・定時運航率の向上



Airport

- ・ターミナル処理能力の向上
- ・混雑の緩和
- ・非航空収入の増大



お客様とスタッフの接触を削減

成田空港におけるFAST TRAVEL

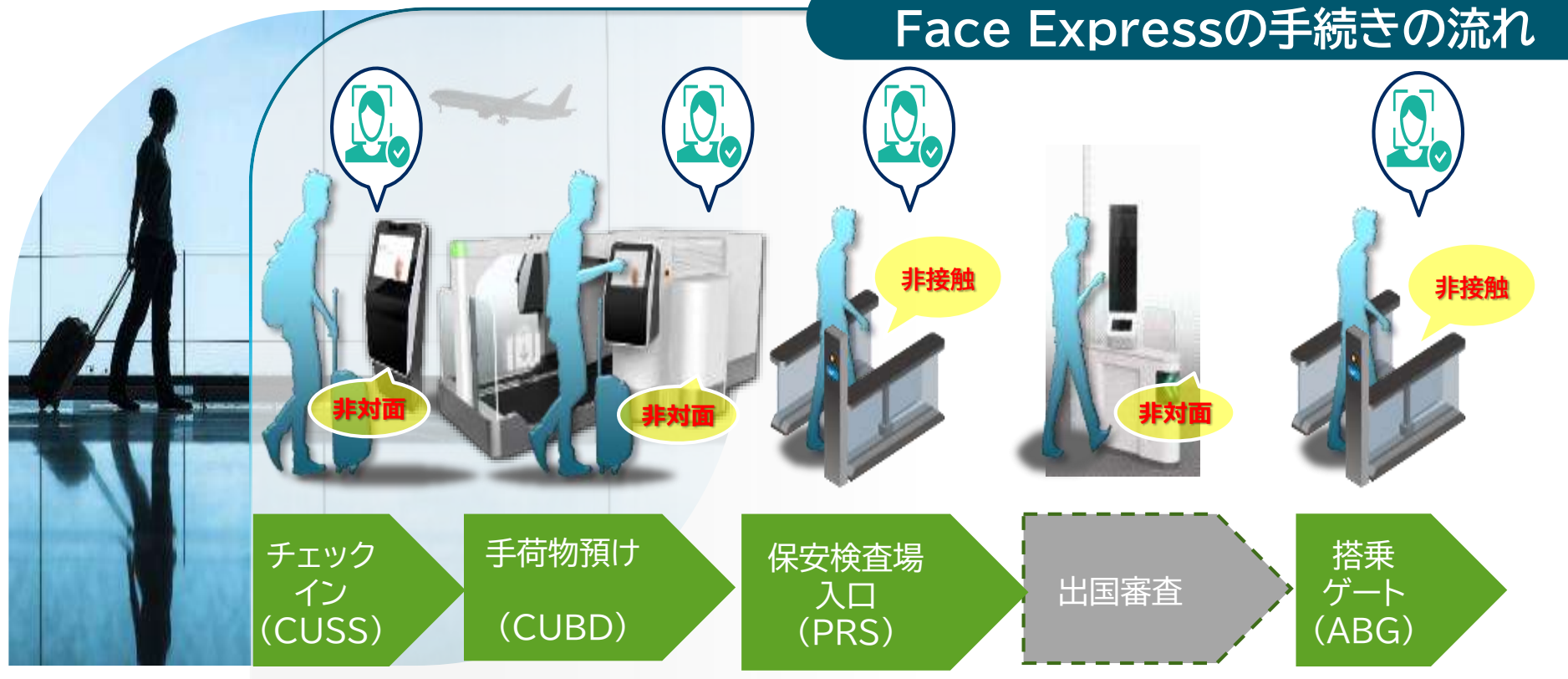


標準運用手順書(SOP)
⇒オペレーションの標準化

旅客動線管理(PFM)
⇒リアルタイム混雑状況の把握と改善

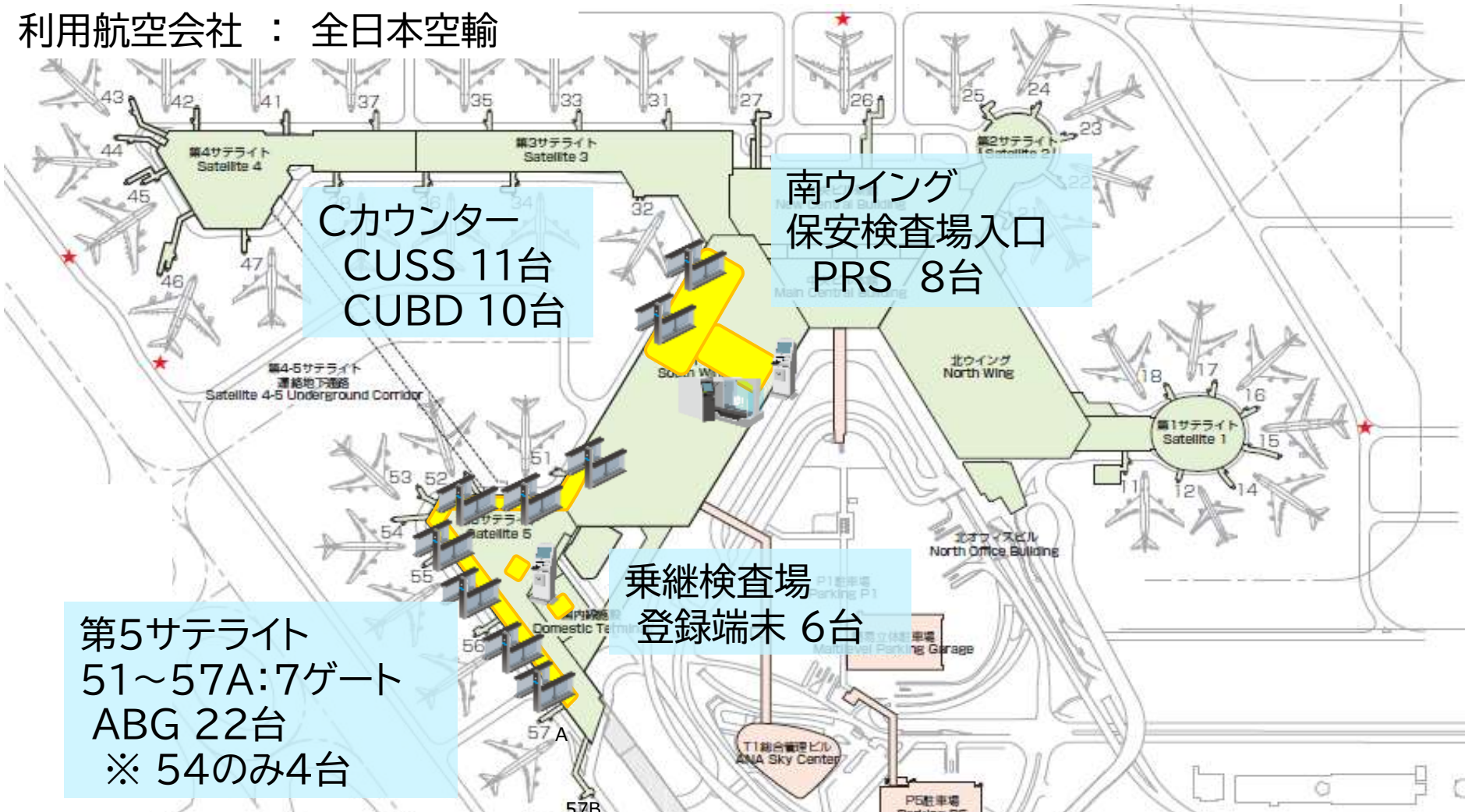
成田空港におけるFace Express

Face Expressの手続きの流れ



成田空港における導入規模(フェーズ1)

利用航空会社 : 全日本空輸



運用開始 : 21年4月実証実験開始、7月本格運用開始予定

成田国際空港 第1ターミナル

Face Express機器設置状況(第1ターミナル)



自動チェックイン機(CUSS)



自動手荷物預け機(CUBD)



搭乗券読取機(PRS)



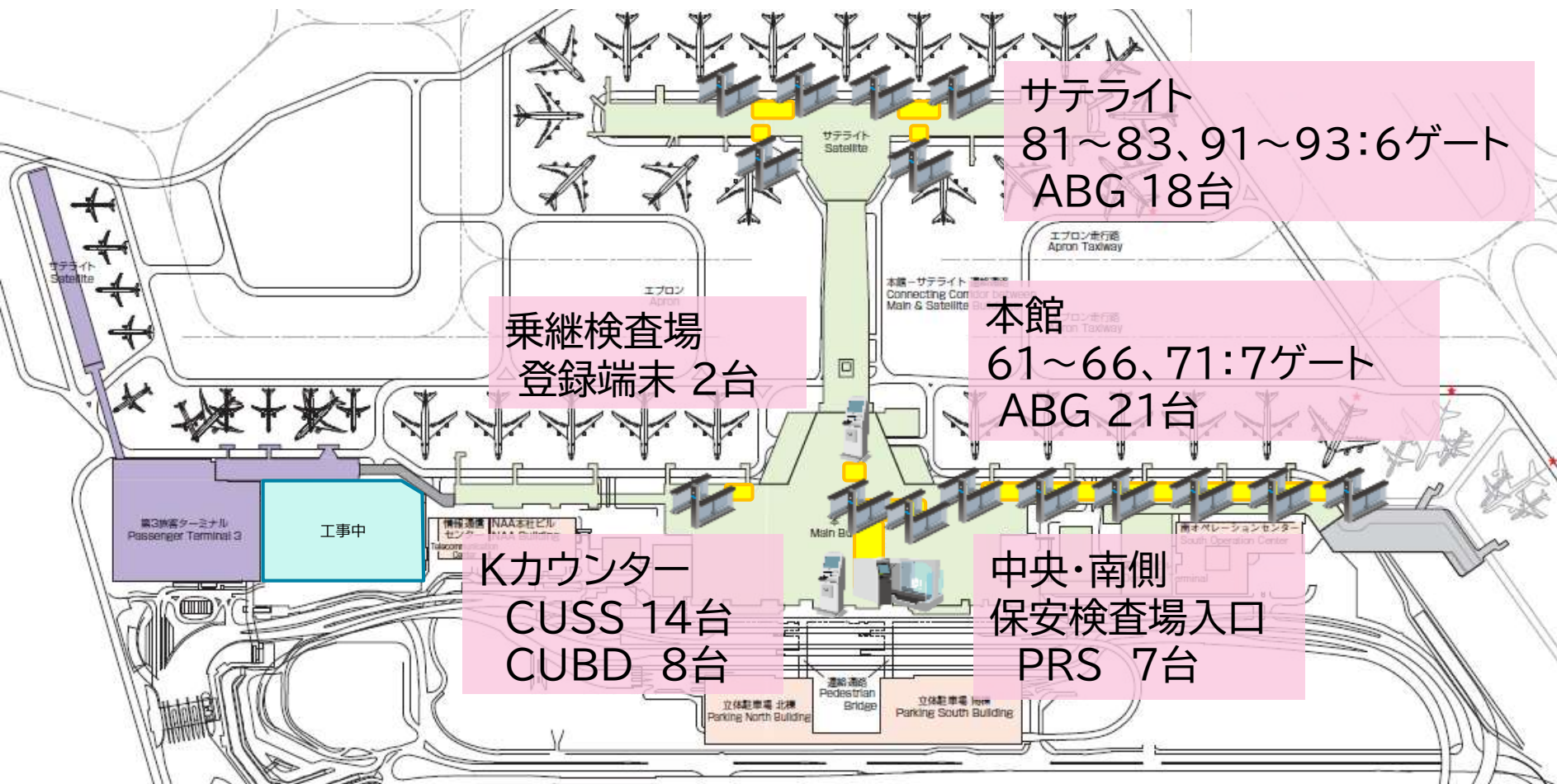
自動搭乗ゲート(ABG)



登録端末

成田空港における導入規模(フェーズ1)

利用航空会社 : 日本航空



運用開始 : 21年4月実証実験開始、7月本格運用開始予定

成田国際空港 第2ターミナル

Face Express機器設置状況(第2ターミナル)



自動チェックイン機(CUSS)



自動手荷物預け機(CUBD)



搭乗券読取機(PRS)



自動搭乗ゲート(ABG)



登録端末

今後の展開

参加
航空会社
拡大

機器設置
エリア
拡大

検査証明等
デジタル化
との連携

Face Expressご紹介



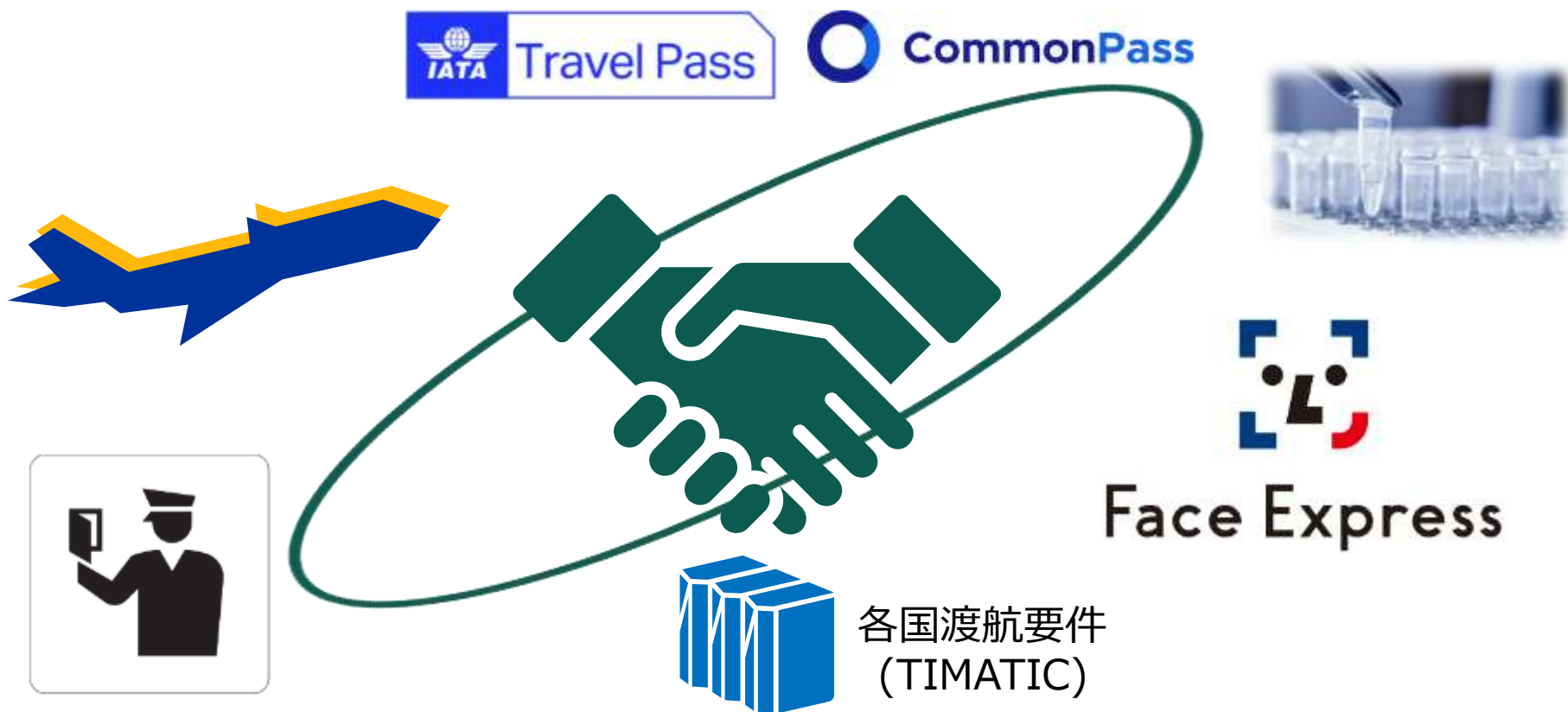
Face Express特設サイト : <https://www.narita-airport.jp/jp/faceexpress/>

本動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=FQWEcAWLxa4>

3. 国際機関の動向と国際線再開に向けて

デジタル証明を活用した国際渡航再開

- 国際航空輸送の本格的な再開に向けて、これらデジタル技術の活用は極めて重要→感染拡大防止、偽造・不正渡航抑止、航空の利便性と高速性を回復
- 国際間の標準化、相互互換性(インターオペラビリティ)の確保が不可欠

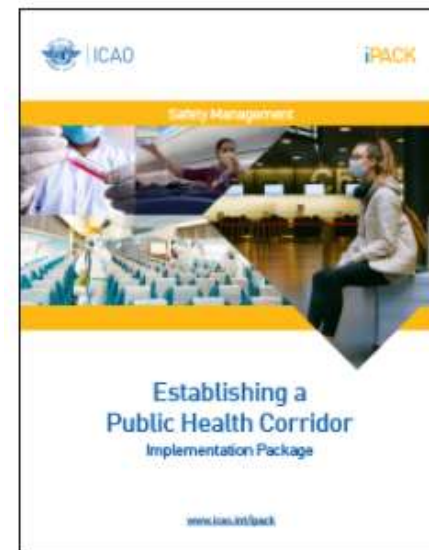


国際渡航が再開できるときに向けて

ICAO/CART(Council Aviation Recovery Task Force)ガイドライン

PHC(Public Health Corridor:2国間で往来ができる枠組み)を推奨

- ・PHCを実施する政府機関は相互に適正な情報共有を実施すること
- ・ICAOでは、PHCを導入するための導入パッケージ(iPack)、テンプレート、アプリケーションを提供



→ リスクアセスメントの実施

→ リスク評価をベースに必要な出入国要件を整理

→ 実証実験を通じて、課題・有効性を評価



- デジタル化の取り組みに対しては、**国際的な標準化**、各取り組み間の**相互互換性(インターオペラビリティ)**を求めたい
- 関係機関と連携して、**空港における遅延、混雑の回避**に努める
- 政府および航空会社による各取り組みの**実証実験を積極的にサポート**

ANA NEWS

ANA
Inspiration of JAPAN

第 20-116 号
2021 年 3 月 10 日

新型コロナウイルス検査結果やワクチン接種記録のデジタル証明書アプリ
「IATAトラベルパス」の実証実験を実施します



ANA
Inspiration of JAPAN

2021 年 3 月 29 日
全日本空輸株式会社
The Commons Project

新型コロナウイルス検査結果のデジタル証明書「コモンパス」の
実証実験を実施します



JAPAN AIRLINES

JAL GROUP NEWS

**安全・安心でスムーズな渡航に向け、3つのデジタル証明書アプリ
「コモンパス」、「VeriFLY」、「IATAトラベルパス」との取り組みを開始**

2021 年 4 月 2 日
第 21003 号

- ✓ 3つのデジタル証明書アプリ「コモンパス」、「VeriFLY」、「IATAトラベルパス」のJAL運航便への導入に向けた取り組みを開始
- ✓ 羽田-ホノルル線(4月2日)、成田-シンガポール線(4月5日)で「コモンパス」との実証実験を空港で実施
- ✓ 安全・安心でスムーズな渡航を目指し、デジタル証明書アプリの早期実用化に向けた取り組みを加速

※出典：全日本空輸・日本航空プレスリリース資料より